

現役高校生 500 人に聞く「クリスマスプレゼント大調査 2021」 「クリスマスに欲しいプレゼントランキング」1位は「お金」！ 高校生の実態は堅實的！日常の‘プチご褒美’の位置づけ 昨年の全国平均プレゼント金額は「8,237円」

『スタディサプリ進路』が高校生に‘クリスマスプレゼント’に関するアンケートを実施

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部が高校生エディター＆公式 LINE 登録者を対象に‘クリスマスプレゼント’についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL: <https://shingakunet.com/journal/trend/20211123000006/>

■「クリスマスに欲しいプレゼントランキング」TOP5、1位は約6割が選んだ「お金」！

全国の高校生 500 人に今年のクリスマスにもらいたいプレゼントについて聞いたところ、1位は半数以上の約6割が選んだ「お金」という結果に。理由は、「自分の好きなものが買えるお金が欲しい」（千葉県/女子）、「お金をもらって友達と遊びたい」（北海道/男子）など、自由な使い方を求める人が多い傾向にありました。また、「お金」の内訳を見てみると、「金券」や「電子マネー」よりも「現金」を選ぶ人が多く、キャッシュレス社会の中ではありつつも、クリスマスプレゼントでお金をもらって自由な使い方をしたい高校生にとっては、現金の方がまだまだ便利であることも分かりました。

＜Q. 今年のクリスマスプレゼントは何をもらいたいですか？
欲しいもののジャンルを選んでください。（複数回答/n=500）

順位	クリスマスに欲しいプレゼントランキング TOP5	割合
1	お金	59.2%
2	服・かばん	27.0%
3	コスメ・香水	22.6%
4	本（参考書なども含む）	14.4%
5	アクセサリ	12.8%

＜お金を選択した人の内訳（複数回答/n=296）＞

順位	「お金」の内訳	割合
1	現金	65.2%
2	金券（図書カードやQuoカードなどの現物）	30.1%
3	電子マネー（LINE PayやSuicaなど）	4.7%

■昨年のクリスマスプレゼント平均金額は「8,237円」

昨年、クリスマスプレゼントをもらったと答えた人にその予算を聞いたところ、平均金額は‘8,237円’であることが分かりました。また、高校生が1カ月にもらっている金額の平均は4,944円(※1)のため、比較すると約1.7倍となり‘非日常の特別感’を感じられるボーダーラインが見える結果に。

(※1)「平成 28 年度 高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査報告書」
公益財団法人消費者教育支援センター、公益財団法人生命保険文化センター

＜Q. 昨年のクリスマスプレゼントの予算は？（単一回答/
「もらっていない」を除く n=334）＞

順位	金額	割合
平均金額	8,237円	
1	4,001~5,000円	24.9%
2	3,000円以下	21.9%
3	9,001~10,000円	20.1%

※平均金額は、各選択肢の中央値で算出

■編集長コメント

高校生の実態は堅實的！クリスマスプレゼントは日常ポर्टフォリオの中のちょっとしたご褒美！



『スタディサプリ進路ブック』
編集長
仲井 美夏
(なかい みか)

12月といえばクリスマス！iPad、イヤフォン、電子マネーなど、今の高校生の欲しいプレゼントは何かと思いきや、一位は「お金」でした。その背景をひもとくと、実はイマドキ高校生の志向性が垣間見えるのが面白く、「今は特に欲しいものが無いからできたときに使いたい」「大学生になった時のために貯めておきたい」など‘無理やりほしいもの’を探してリクエストするのではなく、等身大の自分のまま‘いつか’を見据えた『積み立て型』で、より選択の自由度の高いカタチで可能性を残しておこうという堅實的な考えを持っています。

非日常的なクリスマスがテーマにもかかわらずプレゼントは現実的である点から、クリスマスプレゼントが、とてもスペシャルなものというよりも、彼らにとっては「日常を楽しむためのポर्टフォリオ」にプラスされるちょっとしたご褒美になっているのかもしれません。

来春4月からは、投資信託の授業がスタートするなど、高校生が持つお金の知識は広がっていきます。その際に、彼らの志向性と知識が相まってお金への価値観もきっとどんどん変化していきま。大注目です！

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【アンケート概要】

- 調査時期：2021年11月2日（火）～2021年11月7日（日）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター/公式LINE登録者）
- 有効回答数：500件（男子117件、女子383件）

■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインナップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

■「#高校生なう」について

『スタディサプリ進路』の「#高校生なう」では、進路や高校生に関するニュース&コラムを配信しています。高校生の最新トレンドから勉強や奨学金、就職、入試など高校生活に役立つ情報を、進路情報に精通した専門ライターが分かりやすく解説します。

今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/trend/20211123000006/>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここいない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>